

(資料3)

第2回 徳島県特別支援学校の 教育環境に関する検討会議

事務局説明 情報提供

徳島県教育委員会

1

徳島県立特別支援学校の教育環境に関する有識者会議

◆ 検討事項

(1) 特別な支援を必要とする児童生徒数の今後の人数予測

- ① 特別支援学校に在籍する児童生徒数の推移の見直し
- ② 人口減少等を踏まえた予測に基づく、今後の対応方針の検討

(2) 次世代の特別支援教育の担い手となる人材の 育成と確保

- ① 多様化する障がいに対応できる専門性の担保・向上の取組
- ② 教員不足解消につながる人材確保策の検討

(3) 特別支援学校に在籍する児童生徒が、 可能な限り地域の中で共に学ぶ教育の実現

- ① 徳島県の現状や地域性を踏まえた「インクルーシブ教育」の構想
- ② 既存ストックを活用した教育環境の検討

2

本日の検討会議について

- 1 検討事項に係る情報提供及び情報共有
- 2 学校見学(国府支援学校)
- 3 検討事項に係るグループ協議

3

1

検討事項に係る
情報提供及び情報共有

4

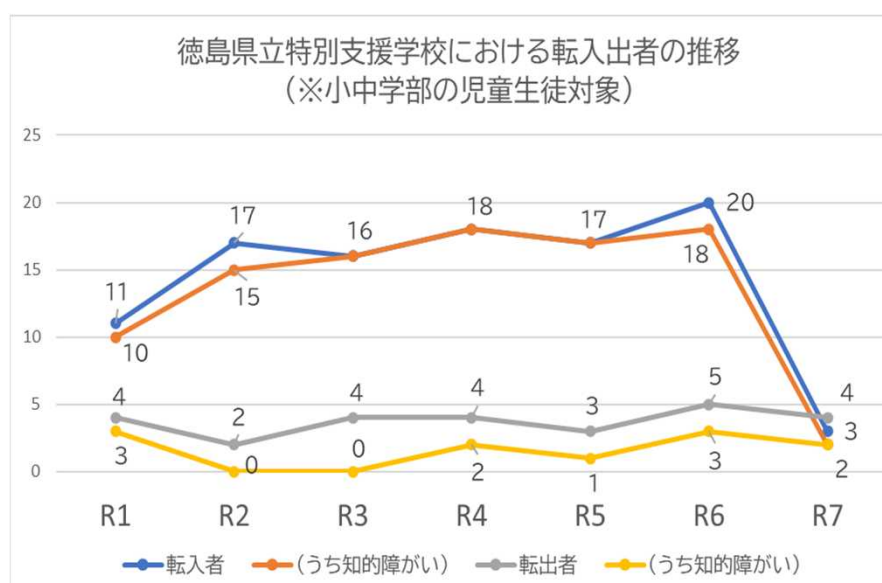
特別な支援を必要とする児童生徒数の今後の人数予測

【委員の発言要点】

- (1) 地域の学校から特別支援学校へ、または、特別支援学校から地域の学校へ転学する児童生徒の状況を知りたい。(特に、知的障がいの児童生徒)
- (2) 知的障がいの特別支援学校の児童生徒予測数について、療育手帳の判定の推移が分かれば予測できるのではないか。

5

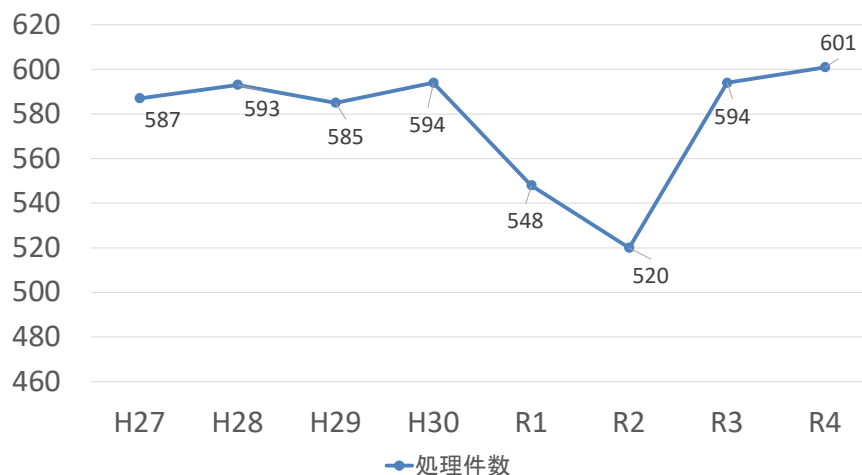
特別支援学校における転入出者の推移



6

療育手帳の判定処理状況

療育手帳年度別判定処理状況

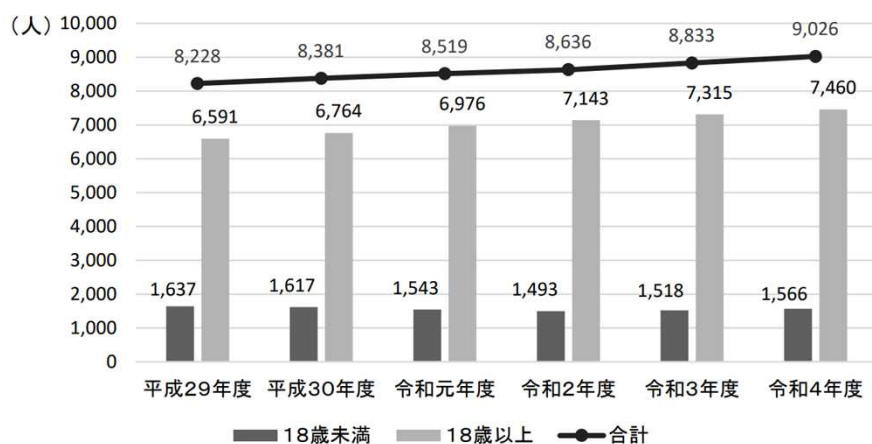


出典: こども女性相談センター業務概要より

7

療育手帳の所持者数推移

療育手帳所持者数の年齢別推移

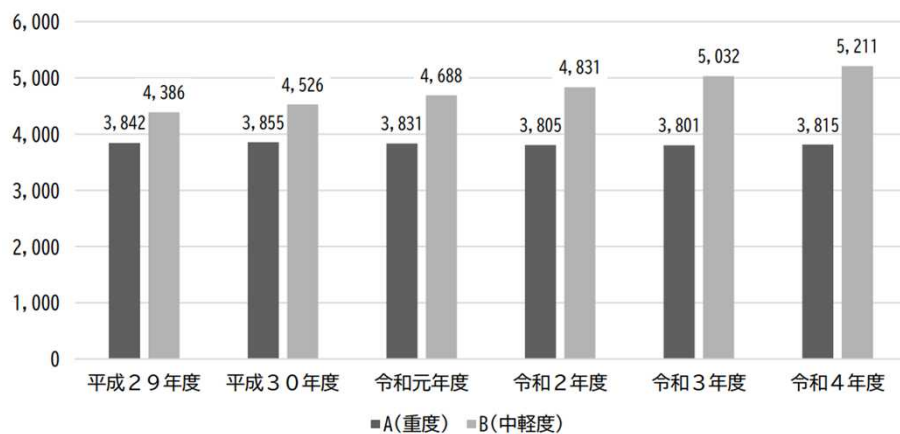


出典: 徳島県障がい者施策基本計画(2024年から2029年)

8

療育手帳の所持者数推移

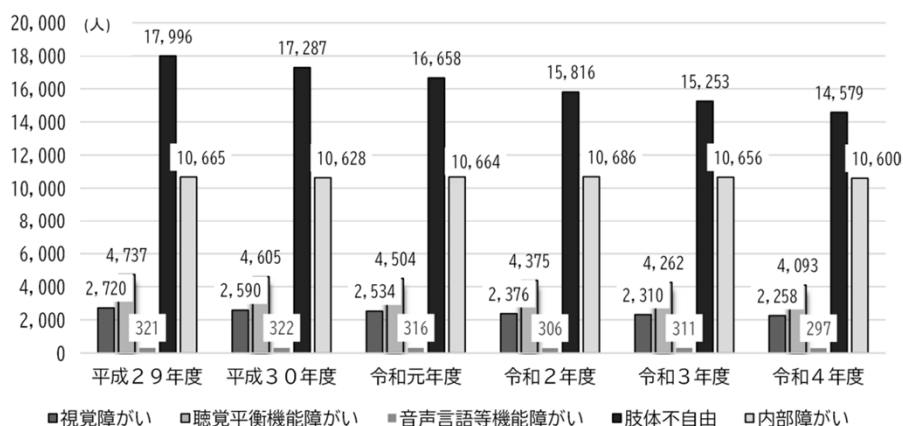
療育手帳所持者数の程度別推移



出典：徳島県障がい者施策基本計画（2024年から2029年） 9

身体障害者手帳の所持者数推移

身体障害者手帳所持者数の障がい別推移



出典：徳島県障がい者施策基本計画（2024年から2029年）

10

次世代の特別支援教育の担い手となる人材の育成と確保

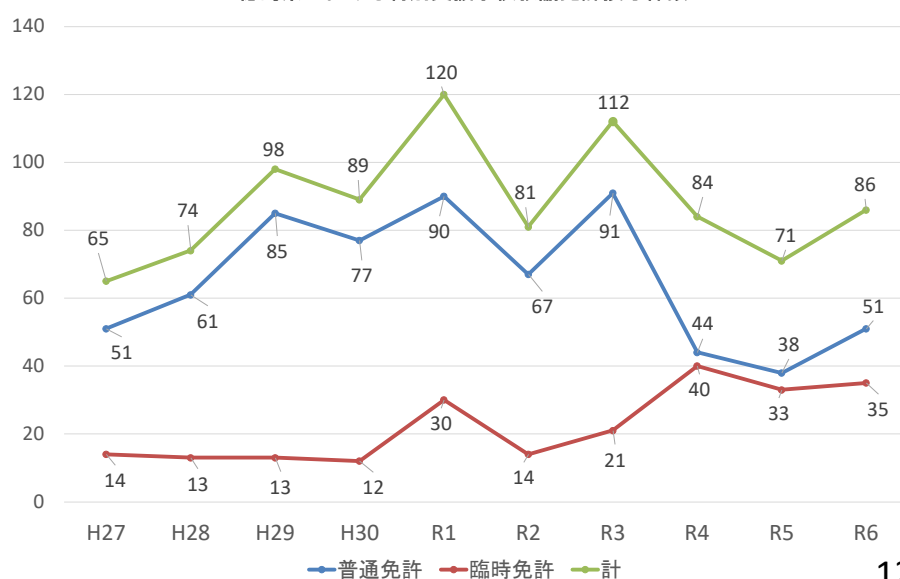
【委員の発言要点】

- (1) 特別支援学校教諭の免許取得者数について知りたい。
- (2) 募集方法の工夫により、補助員・介助員的な立ち位置の働き手を募集することで、人数確保につながるのではないか。
- (3) 年度初め、教員の枠が埋まらない状態でのスタートで、初めて特別支援学校で働く先生もいる。人材育成まで手が回らない状況。

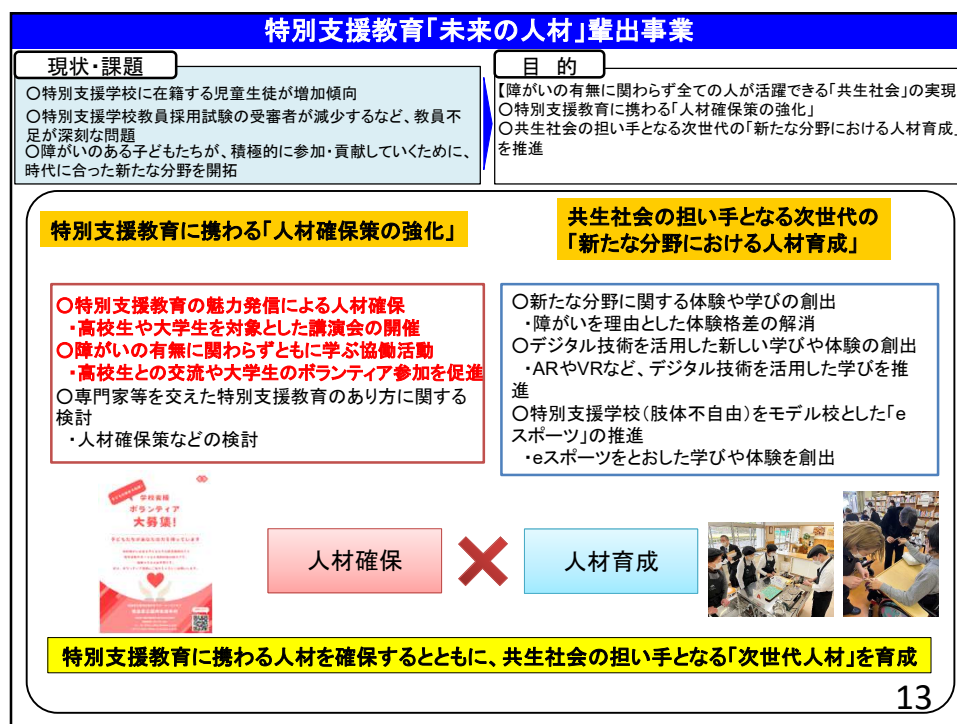
11

徳島県における特別支援学校教諭免許状の授与件数

徳島県における特別支援学校教諭免許授与件数



12



13



14

特別支援学校に在籍する児童生徒が、 可能な限り地域の中で共に学ぶ教育の実現

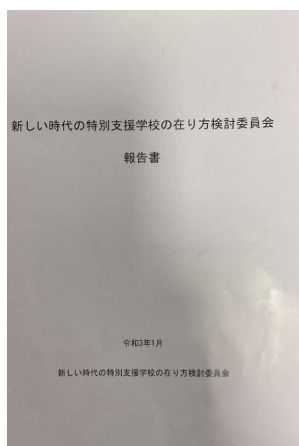
【委員の発言要点】

- (1)「みまカフェ」は、週1回地域の方が定期的に来てくれるシステムで、生徒が接客などを行うことで地域との交流が生まれている。
- (2)手作りのものや野菜などを学校に買いに来てもらうことで、地域との関係性をつくることができる。地域の方に一歩踏み込んでもらえる学校づくりが大事。
- (3)重度の障がいがある方の交流は難しいため、地域の方に来ていただくのは有効な手段であり、次の教育者を発掘することにもつながる。

15

国府支援学校における取組

ダイバーシティの先導モデルとしての 「国府支援学校」の機能強化



「新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会」報告書
(令和3年1月)を受けて、
報告書の内容を具現化

徳島県立国府支援学校

16

新校舎棟の概要



令和7年3月竣工

- 鉄筋コンクリート造4階建て
- 延床面積10,000㎡(3000坪)
- 広々としたエントランス
- 普通教室61教室を配置
- 回廊型を採用し、採光がとれ全館LEDで校舎内が明るい。
- 基礎的な教育環境を整備
図書室、男女更衣室、中庭、ランチルーム、各階にホール、職員室、保健室、会議室 等

17

1 知的障がい教育の基幹校としての「基本機能」

構造化を設計段階から導入



教育環境の基本的な機能の充実



「新しい生活様式」を実現する普通教室

18

1 知的障がい教育の基幹校としての 「基本機能」

快適な学習空間を実現
採光とLEDで明るい空間



全館空調システム
24時間換気ユニット

全館バリアフリー

児童生徒の安全安心のための
ユニバーサルデザイン

19

1 知的障がい教育の基幹校としての 「基本機能」



冷暖房や
調光付き

リラックスルーム(小学部) リラックスルーム(高等部)

多様な教育ニーズに対応する機能

20

リラックスルーム(カームダウン)



小学部から、情緒の安定や他害を引き起こさない自律的な指導を開始

多様な教育ニーズに対応する機能

21

2 ダイバーシティを先導する教育内容の在り方



「赤しその収穫」と「公園での遊び」(ふらっとKOKUFU)

地域一体型のキャリア教育(小学部)

22

2 ダイバーシティを先導する教育内容の在り方



キッチンカーを活用したお接待
(ふらっとKOKUFU)



緑化フェアで製品を提供
(徳島市植物園)

地域一体型のキャリア教育(中学部)

23

2 ダイバーシティを先導する教育内容の在り方



ふくっとマルシェ開催
(フジグラン石井)



清掃活動
(特別養護老人ホーム)

地域一体型のキャリア教育(高等部)

24

3 ダイバーシティの先導を支える 施設整備の方針



「カフェ」の設置や
「コミュニティショップ」
での販売学習



技能実習室の設置



多目的ホールで地域交流

「ダイバーシティ棟」の完成(令和9年)

25

3 ダイバーシティの先導を支える 施設整備の方針



「阿波おどり連」と交流

○天保連

○今昔物語組



冷暖房付き

生涯スポーツの場

サッカー、ボッチャ、

バスケット、モルック等

「新しい体育館」の竣工(令和8年10月)

26

3 ダイバーシティの先導を支える 施設整備の方針



○寄宿舎の
生活施設を活用



○炊き出しを提供
できる調理場

○災害時に備え、
非常用電源を整備

地域の障がい者の避難所としての機能

27

4 地域人材(ボランティア)の確保

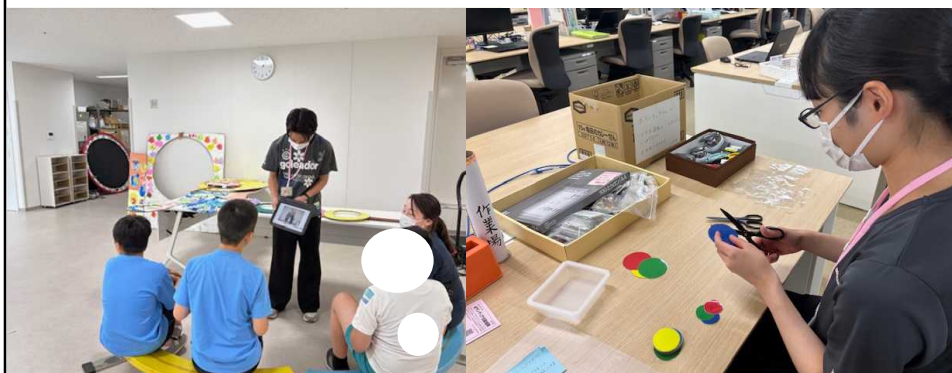


給食配膳ボランティアの皆さん

地域で学校を支えていただくシステムの構築

28

4 地域人材(ボランティア)の確保



大学生による授業補助、教材作成

地域で学校を支えていただくシステムの構築 29

4 地域人材(ボランティア)の確保

ボランティアパスポート

国府支援学校サポーターズクラブ

国府支援学校 ボランティアさん募集

国府支援学校50周年記念キャラクター

国府支援学校には、知識がいろいろある子どもたちが通っています。
国語・算数・図画工作等の「授業補助」や「給食配膳」「教材作り」等をお手伝いしてくださるボランティアさん、ぜひお申し込みください。

授業補助
大学生、大学院生、専門学校生、教育・福祉・保育現場で実務経験がある方

給食配膳・教材作り・行事等の駐車場誘導
どなたでも歓迎しております。

登録の手順: ①お下のQRコードより登録
②ご学校よりご連絡③専用メール登録のご案内

徳島県立国府支援学校 ☎ 088-642-4055
徳島市国府町天野字仙木348番地 担当教頭 黒田
kokufu_ss_6@mt.tokushima-ec.ed.jp

下のQRコードから登録

国府支援学校・2025 第3回 就職ガイダンス

～新しくなった「国府支援学校」で、あなたの力を発揮しませんか～

就職ガイダンスWeek

10月6日～10日
月火水木金
10時～12時
(受付9時45分～)

会場 徳島県立国府支援学校
(徳島市国府町天野字仙木348)

対象
○来春、大学を卒業見込みの方で、国府支援学校で常勤講師の勤務を希望する方
○倉庫教諭、幼稚園教諭、保育士、理学療法士、作業療法士等の資格があり、常勤講師の勤務を希望する方

内容
○学校見学、1日の具体的な仕事内容や勤務条件の説明、実際に働いている教員に相談できる時間があります。

QRコードからアクセスしてお申し込みください。
駐車場は学校ホームページでご確認ください。
お問い合わせや、後日に登録ガイドブックを受けたい方は、本校の電話まで、ご連絡ください。

徳島県立国府支援学校 ☎ 088-642-4055
kokufu_ss@mt.tokushima-ec.ed.jp

ボランティア体験、就職ガイダンスをとおして、
「特別支援学校教諭」を目指す方が増加 30

2

学校見学(国府支援学校)

31

3

検討事項に係るグループ協議

32

徳島県立特別支援学校の教育環境に関する有識者会議

◆ 本日のグループ協議における検討事項

(2) 次世代の特別支援教育の担い手となる人材の育成と確保

- ① 多様化する障がいに対応できる専門性の担保・向上の取組
- ② 教員不足解消につながる人材確保策の検討

33

徳島県立特別支援学校の教育環境に関する有識者会議

◆ 目 的

本県における特別支援学校の教育環境に関する現状と課題を整理し、実情に根ざした今後の教育環境の方向性を検討する。

◆ スケジュール

令和7年	9月	第1回会議（実施済）
	10月	第2回会議（本日）
	12月	第3回会議（次回）
令和8年	2月	第4回会議

34